

Laerdal AED Trainer 2



Laerdal
helping save lives

使用目的

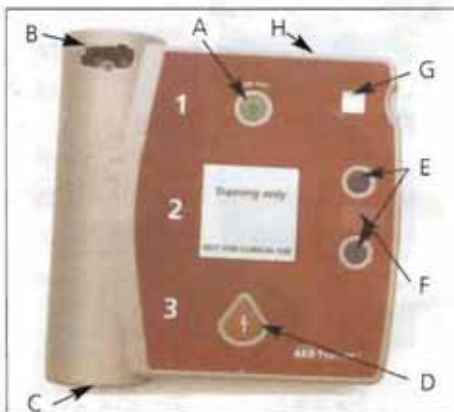
レールダルAEDトレーナー2は、ハートスタートFR2 (レールダル社製AED) の使用方法を習得するために設計されています。この装置は、さまざまなシミュレーションすなわちトレーニングシナリオを備えており、AEDに慣れ、緊急時にAEDを使用するのに必要な基本的技術を実演できるようになっています。

注: FR2 AEDを使用するには、適切なトレーニングプログラムを修了している必要があります。このプログラムにはレールダルAEDトレーナー2の使用も含まれることがあります。トレーニングを修了し、意識、呼吸、循環のない患者の判断、心肺蘇生法(CPR)、適切な医療プロトコルおよび手技の知識を習得してください。

特徴

- レールダルAEDトレーナー2は、除細動器のショックをシミュレートします。本装置は高電圧機能を備えていないので、トレーニング中は安全が保証されます。
重要: 高電圧ショックを与える動作中の除細動器を使用するときは、取扱い上の安全を忘れないでください。
- レールダルAEDトレーナー2は、レールダル リンク テクノロジーを用いたAEDリトル・アンやAEDレサシ・アンと共に使用するように設計されており、これらのマネキンへのパッド装着に対して反応するようになっています。また、他のあらゆるマネキンと共に使用することもできます。
重要: パッド装着機能に対するリアルな反応は、レールダル リンク テクノロジーを用いたAEDリトル・アンやAEDレサシ・アンと共に使用した場合にのみ得られます。
- レールダルAEDトレーナー2は、オプションの赤外線リモートコントロールで 사용할 ことができます。このリモートコントロールによって、指導者はトレーニングシナリオをコントロールすることができます。
- レールダルAEDトレーナー2には、突然の心停止を想定した10のトレーニングシナリオがあらかじめ組み込まれています。シナリオの内容については、6ページを参照してください。これらのシナリオは、国内外で認められたレスポンスプログラムによって作成されるトレーニングプログラムに適合しています。追加的なトレーニング事項、プロトコル、教材については、現場の医療責任者や救急医療体制にて確認してください。さらに、オプションのプログラミングキットを使用すれば、3つのカスタムシナリオが作成できます。(5ページのアクセサリを参照してください)。
- レールダルAEDトレーナー2は、PCのシリアルポート (通常は「COM1」と表示されています) に接続することができます。オプションのプログラミングキットを使用すれば、カスタムトレーニングシナリオの作成、さまざまなプロトコルパラメータのセットアップ、そして言語出力の変更を行うこともできます。

- A **電源ON/OFFボタン**: 本体の電源を入れ、ボイスプロンプトを起動します。ボタンを一度押すと本体の電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。
- B **パッドコネクタースポート**: トレーニングパッド(電極)のコネクターをパッドコネクタースポートに差し込みます。LEDが点滅してポートの位置を示します。除細動パッド(電極)のコネクターをポートに正しく差し込むと、LEDは覆われて見えなくなります。
- C **スピーカー**: 本体と患者の状態に関して音声による指示と情報を与えます。スピーカーの音量は、2個の青色のオプションボタンまたはリモートコントロールによって調節することができます。本体の電源を切っても、最後の設定は保存され維持されます。
- D **除細動スイッチ(ショック・ボタン)**: シミュレートされたショックを制御します。本体でシミュレートされたショックの準備が整うと、このボタンが点滅します。
- E **オプションボタン**: 使用中のボイスプロンプトの音量を調節します。重要:これらの「オプション」ボタンは実際の除細動器では異なる機能を持ちます。FR2ユーザズガイドを参照してください。
- F **オペレーターディスプレイおよびリモートコントロールレシーバー**: ボイスプロンプトの音量、トレーニングシナリオの選択、リモートコントロール入力に対する応答を表示します。(これらの表示例については、次ページのリモートコントロールの図とボタンの説明を参照してください)。
- G **ステータス・インジケータ**: このウィンドウはFR2の状態表示をシミュレートします。タブを引くことにより、砂時計記号とXを切り替えることができます。これらの記号に関する詳細については、FR2ユーザズガイドを参照してください。
- H **バッテリー**: レールダルAEDトレーナー2のバッテリーはFR2除細動器のバッテリーに類似しており、挿入と取り外しの機構が同種のもです。ただし、レールダルAEDトレーナー2のバッテリーケースは交換可能な単2アルカリ電池6個を収納しています。
- I **トレーニングパッド(電極)**: トレーニングパッドはFR2で使用するものと類似していますが、ショックを実行しません。黄色のコネクターが付いたトレーニングパッドは任意のマネキンで使用するものです。白色のコネクターと「Laerdal Link Technology」のロゴが付いたトレーニングパッドは、レールダル リンク テクノロジーを用いたAEDリトル・アンとAEDレサシ・アンで使用するものです。
- 注:レールダルAEDトレーナー2には、黄色のコネクターが付いた1組のトレーニングパッドが付属しています。黄色のコネクターを本体のコネクタースポートに挿入すると、本体はパッドが患者に装着されているかのように反応し、処置プロトコルに従って進みます。トレーニングパッドはトレーニング用に限定されており、実際のFR2 AEDとは機能しません。
- J **リモートコントロール(オプション)**: オプションのリモートコントロールは、トレーニングセッション中にレールダルAEDトレーナー2のさまざまな機能のコントロールに使用することができます(5ページのアクセサリを参照してください)。個別のボタン機能が説明されている次ページの表を参照してください。リモートコントロールのほとんどの動作は、表に示されているように、レールダルAEDトレーナー2本体のオペレーターディスプレイに赤色のデジタル文字で表示されます。



	この機能は未使用です。
	10の標準シナリオからいずれかを選択します。
	3つのカスタムシナリオからいずれかを選択します。
	選択されたシナリオをオペレーターディスプレイに2秒間表示します。
	シナリオと装置の動作を一時中断/再開します。一時中断ボタン (II) は本体のすべての動作を一時中断します。一時中断中は左記の記号が点滅します。再開ボタン (▶) は一時中断した時点からの動作を再開します。
	体動をシミュレートします。分析は中断され、すべての動きを停止するよう音声で指示します。
	パッド(電極)の装着が悪い状態をシミュレートします。
	パッド(電極)の装着が良好な状態をシミュレートします。
	除細動を要する波形をシミュレートします。この機能は実行中のシナリオを無効にします。
	除細動を要さない波形をシミュレートします。この機能は実行中のシナリオを無効にします。
	マネキン上のパッド(電極)位置を示すLEDを点灯します。
	ローバッテリー(電池容量が残り少ない)の状態をシミュレートします。ボタンを一度押すとローバッテリーの状態をシミュレートし、もう一度押すとバッテリー交換を音声で指示します。
	エラー状態をシミュレートします。装置は動作を停止し、10秒ごとに「ビー」という音を発します。「Er」がオペレーターディスプレイ上に表示されたままになります。この状態はFR2のステータスディスプレイにおける赤色のXに相当します。
	スピーカーの音量を調節します。

リモートコントロール (オプション)

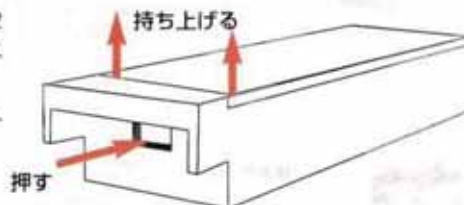


バッテリーの交換方法

バッテリーケースをレールダルAEDトレーナー2に取り付けるには、バッテリーケースを本体のバッテリーレセプタクルヘスライドさせて挿入します。このとき、バッテリーケースのラベルが上向きになるようにします。正しく挿入されるとバッテリーケースは所定の位置に固定され、レールダルAEDトレーナー2は自動的に電源が入り、「セットアップ」モードになります。

バッテリーのパワーが特定ポイントより下がると、レールダルAEDトレーナー2の電源投入時に「バッテリーが低下しています」という音声メッセージが出力されます。このメッセージが出力されたら、バッテリーを次のように交換してください。

1. バッテリーケースを取り外します。2個のロックングタブが解除されるまで、バッテリーケースハンドルを持ち上げ、レールダルAEDトレーナー2からバッテリーケースを取り外します。
2. アルカリ電池を交換します。蓋が解除されるまでケースの端にあるロックングタブを内側へ押し、バッテリーレイから蓋を持ち上げて外します。（イラストを参照してください）。
3. 古いバッテリーを取り外し、新しい1.5Vアルカリ電池（単2形）を入れます。必ずバッテリーケースの内側に表示されたバッテリー交換図に従ってください。
4. 蓋を元の位置に戻し、バッテリーレイをレールダルAEDトレーナー2に再挿入します。



レールダル社製トレーニングマネキンとの使用方法

レールダルAEDトレーナー2は、レールダル リンク テクノロジーを用いたAEDリトル・アンやAEDレサシ・アンのトレーニングマネキンと共に使用することができます。この技術によって、マネキンの体表面へのパッド装着に対するリアルな反応が可能になります。どちらのマネキンにも胸カバー内にLEDが付いており、正しいパッド装着の中心位置を表示するようになっています。レールダルAEDトレーナー2は、パッドの装着時にLEDが自動的に点灯するようあらかじめ設定されています。パッドがきちんと装着していないか、マネキンに正しい位置で装着していない場合は、レールダルAEDトレーナー2はパッドをきちんと装着するように繰り返し音声で指示します。

注:レールダル リンク テクノロジーを用いたAEDリトル・アンやAEDレサシ・アンと共に使用する場合、「Laerdal Link Technology」のロゴが付いたトレーニングパッドと白いコネクターを使用する必要があります。

アクセサリ

07-10900	標準トレーニングパッド（任意のマネキンと共に使用）
94 50 90	レールダルリンク トレーニングパッド（レールダル リンク テクノロジーを用いたマネキンと共に使用）
02 00 50	AEDリトル・アン
94 50 50	リモートコントロール（オプション）
94 50 55	プログラミングキット（オプションのソフトウェアとケーブル）

トレーニングシナリオの選択方法

オプションのリモートコントロール、または本体のセットアップモードの使用により、トレーニングシナリオを選択することができます。セットアップモードを起動するには、電極パッドが接続されていないことを確認し、バッテリーを取り外して再度挿入してください。また、2個のオプションボタン（青色）を押した状態で、電源ON/OFFボタン（緑色）を押してもセットアップモードは起動します。本体がセットアップモードになると、オペレーターディスプレイは現在選択されているシナリオを表示します。シナリオの選択を変更するには、オプションボタンを使用して希望のシナリオを選択し、電源ON/OFFボタンを押してセットアップモードを終了します。バッテリーを取り外しても、最後のシナリオ選択は本体に保存されています。

AEDトレーナー2 収載シナリオ

番号	項目	内容	ARC ^{※1} シナリオ番号	AHA ^{※2} シナリオ番号
1	心室細動 - 除細動を要する波形から要さない波形へ	- 除細動を要する波形 - ショック1回 - 除細動を要さない波形		
2	心室細動 - 複数回ショックで除細動を要さない波形へ	- 除細動を要する波形 - ショック3回 - 1分間CPR（心肺蘇生）の一時的中止 - 4回目ショック - 除細動を要さない波形	ARC#1 ARC#3	AHA#1 AHA#5
3	トラブルシューティング - 除細動電極	- 除細動電極の装着エラー - 除細動を要する波形 - ショック1回 - 除細動を要さない波形		
4	心室細動 - 再細動、除細動を要さない波形へ	- 除細動を要する波形 - ショック1回 - 除細動を要さない波形 - 再細動、除細動を要する波形 - 2回目ショック - 除細動を要さない波形	ARC#2 ARC#4	
5	- 除細動を要さない波形	- 絶えず除細動を要さない波形		AHA#4 AHA#6
6	心室細動 - ショック2回で除細動を要さない波形へ	- 除細動を要する波形 - ショック2回 - 除細動を要さない波形		AHA#2 AHA#3
7	心室細動 - ショック2回、再細動、除細動を要さない波形へ	- 除細動を要する波形 - ショック2回 - 除細動を要さない波形 - 再細動、50秒後除細動を要する波形 - 3回目ショック - 除細動を要さない波形		AHA#7
8	トラブルシューティング - 除細動電極 - ショック2回で除細動を要さない波形へ	- 15秒間、除細動電極の装着エラー - 除細動を要する波形 - ショック2回 - 除細動を要さない波形		AHA#8
9	心室細動	- 絶えず心室細動		
10	トラブルシューティング - 動作、ローバッテリー - ショック1回で除細動を要さない波形へ	- 偶発的動作 - 除細動を要する波形 - ショック1回 - 除細動を要さない波形 - ローバッテリー		

※1 ARC : AMERICAN RED CROSS

※2 AHA : AMERICAN HEART ASSOCIATION

仕様は予告なく変更することがあります